

学習指導案 「少年犯罪を考える」

本誌 P84～P89 対応

1 主題設定の理由

高校生や同世代の少年による、短絡的かつ残虐な手口の重大犯罪が起きていることは周知の通りである。また、その犯行に及んだ少年の多くが、いわゆる「普通の少年」であることも昨今の特徴である。これら少年犯罪の多発は、命を大切に思う気持ちや罪の意識、他者との関係が希薄になっていることが原因の一つであると考えられる。そこで、命の大切さや罪の重さ、他者との関係等について改めて考えさせたいと考え、本主題を設定した。

2 対象生徒

第1～2学年

3 本時のねらい

- (1) 被害者やその家族の立場に立って考えさせることによって、自分自身に起こった場合として捉えさせ、命の大切さについて考えさせる。
- (2) クラスメイトからの話を聞くことにより、他者と自分との関係を再認識させる。
- (3) 法的な観点から犯罪の重さ、責任について考えさせる

4 展開方法

担任主導で一斉授業の形で進めることもできるが、5～6人程度の班に分けて意見を交換させることもできる。

5 展 開

項 目	内 容	留意事項	時 間
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のテーマを確認する。 ・ 少年が加害者となった事件で、記憶に残っているものをあげさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数名指名して発表させても良い。 	5 分
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読解 本誌P84～88を読む ・ 作業1 本誌P89に感想を記入する。 ・ 作業2 互いの感想を読みあい、コメントを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範読で25分程度、黙読で15分程度を想定する。途中まで範読し、生徒の様子を見て続きを黙読するように指示してもよい。 ・ この文章を読んで感じたことに留まらず、被害者・加害者・それぞれの家族・友人の立場で考えてみることも示唆する。また、周囲の何人かに読んでもらうことも予告しておく。 ・ グループ、列等で交換し合い、他の意見を読んで感じたことをその下にリレー形式で記入させる。 ・ 時間に余裕があった場合に交換しあったグループ等で話し合い、その内容を代表者に発表させてもよい。 	15分 ～ 25分 10分 10分
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自記入してもらったものを読み返す。 ・ 本誌P90～91の資料を見ながら、犯罪の法的責任について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 終了後提出するよう指示する。 ・ 罰則として捉えるのではなく、責任を負っていることを理解させる。 	5 分
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 命の大切さについて考えることができたか。 ・ 他者に意見を伝えたり、聞いたりすることができたか。 ・ 法的責任について考え、理解できたか。 		

